

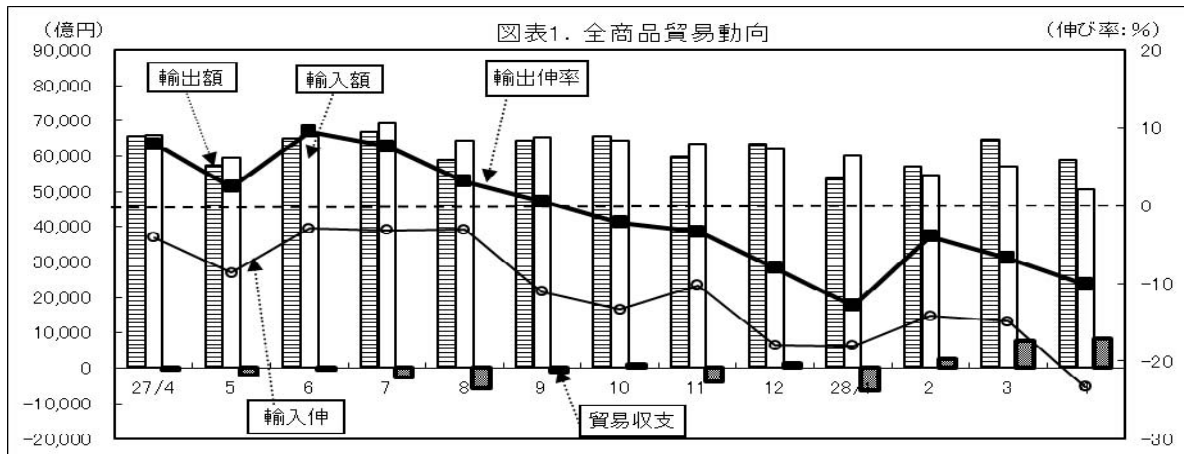
## 最近の機械貿易動向(4月)～機械輸出伸び率7ヶ月連続マイナス～

日本機械輸出組合 2016.6.16.

平成28年4月の機械輸出額は3兆8,548億円、対前年同月比7.0%減と、7ヶ月連続でマイナスとなった。これは、① EUを除く他のすべての地域向けがマイナスとなったこと、②自動車、産業機械、電子デバイス等主要輸出業種がマイナスとなったことなどによる。為替・営業日要因が8.6%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は1.8%増と11ヶ月ぶりのプラスとなった。平成28年5月の為替・営業日要因は0.2%の増加寄与要因となっているが、6月8日発表の貿易統計速報によれば5月上旬の全商品輸出は10.4%減であった。

### 1. 全商品貿易動向～輸出は7ヶ月連続、輸入は16ヶ月連続でマイナス～

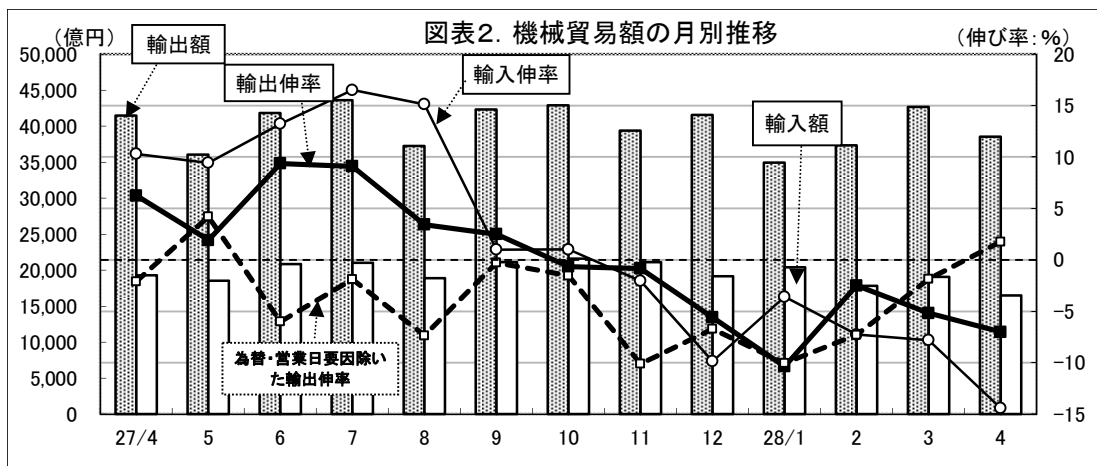
- 平成28年4月の全商品輸出額は**5兆8,891億円**、前年同月比(以下同じ)**10.1%減**と7ヶ月連続でマイナスとなった(3月6.8%減)。これは、全輸出額の約11%を占める鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(18.0%減)、同じく11%のプラスチック・有機化合物等化学製品(10.4%減)、18%の電気機器(8.7%減)等がマイナスとなったためである。
- 輸入額は**5兆660億円**、**23.3%減**と16ヶ月連続でマイナスとなった(3月14.9%減)。これは、全輸入額の約16%を占める原粗油等鉱物性燃料(49.3%減)が原油価格下落等で大幅に減少したことに加え、15%を占める電気機器(19.8%減)、10%の原料別製品(21.3%減)が減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、8,232億円と先月より黒字額がやや拡大した。(3月は7,542億円の黒字)。



### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～輸出は7ヶ月連続でマイナス～

- 全商品輸出額の約65%を占める4月の機械輸出額は**3兆8,548億円**、**7.0%減**と7ヶ月連続でマイナスとなり(3月5.2%減)、その水準は、リーマンショック前(2008年4月)と比べると**82.1%**となって、前月に比べて0.9ポイント改善した(3月81.2%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は1.8%増**であった。
- 一方、全商品輸入額の約33%を占める機械輸入額は、**1兆6,511億円**、**14.4%減**と6ヶ月連続でマイナスとなった(3月7.8%減)。リーマンショック前(2008年4月)の水準と比較しても8.7%増となっている。

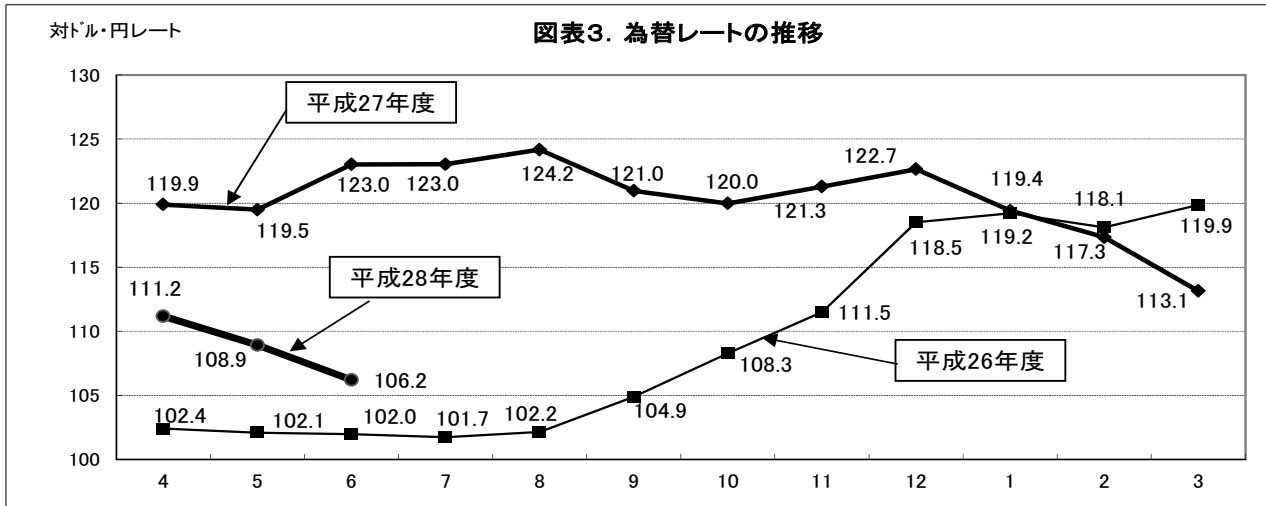


(2) 為替・営業日動向～4月は8.6%の減少要因、5月は約0.2%の増加要因～

1) 4月は1ドル=111.2円となり、前年に比べ7.3%の円高となった。また、対ユーロは125.6円と前年に対して2.8%の円高となり、合わせて約4.0%の為替減少要因となった。営業日は前年より1日少ないため、4.8%の減少要因となり、合計で約8.6%の減少要因となる。4月の輸出額は7.0%減であったことから、実質的伸び率は1.8%増と11ヶ月ぶりのプラスとなった(3月1.9%減)。

2) 5月は1ドル=108.9円で前年比8.9%の円高、対ユーロでは123.6円で前年比6.7%の円高となり、合わせて約5.1%の為替減少要因となった。営業日は前年より1日多いため、5.6%の増加要因となり、合計で約0.2%の増加要因となる。

3) 6月は、対ドルが6月15日17:00時点の106.2円とすれば、前年に比べて13.7%の円高、また、対ユーロは119.2円で12.9%の円高となり、合わせると約8.0%の為替減少要因となる。営業日は前年と同じため、合計で約8.0%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～EU向けのみが前年同月比プラス、他の5地域向けはマイナス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の26.1%を占める最大輸出先の北米向けでは、全体の50%を占める自動車(6.8%減)をはじめ、産業機械(6.0%減)や航空機部品(5.9%減)等が減少して6.8%減となった。②20.1%を占める中国向けでは、電子デバイス(13.2%減)、光学機械(22.3%減)、重電気機械(14.8%増)が大きくマイナスとなって7.2%減となり、③14.9%のASEAN・南アジア向けは、インドネシア(27.5%減)、ベトナム(26.3%減)、インド(13.7%減)等が大幅に減少し、業種では、全体の28%を占める自動車(0.5%増)が増加したものの、22%の産業機械(7.2%減)、電子デバイス(17.9%減)等がマイナスとなって11.5%減となった。④全6地域の中で唯一プラスとなったのが12.9%を占めるEU向けで、35%を占める自動車(22.8%増)や産業機械(3.7%増)、理化学用機器等軽機械(1.8%増)等がプラスとなって、10.5%増となり、⑤9.1%を占める韓国・台湾向けは産業機械(7.7%減)、重電気機械(20.1%減)、光学機械(12.2%減)がマイナスとなって9.5%減となった。⑥16.9%のその他地域向けでは、ロシア東欧等(24.8%減)、中近東(21.7%減)向け等が大きくマイナスとなり、機種では船舶(41.1%増)がプラスとなったものの、58%を占める自動車(18.5%減)、産業機械(12.9%減)等がマイナスとなって12.4%減となった。

2) また、リーマンショック前の2008年4月の地域別輸出額と比較すると、100%を超えた地域はなく、北米、ASEAN・南アジア、中国向けが90%台、韓国・台湾、その他地域向けが70%台、EU向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2016/2			2016/3			2016/4			対08年 4月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	37,325	▲ 2.5	100.0	42,655	▲ 5.2	100.0	38,548	▲ 7.0	100.0	0.82
北米	10,206	0.5	27.3	11,044	▲ 3.8	25.9	10,064	▲ 6.8	26.1	0.94
中国	6,787	2.3	18.2	8,299	▲ 5.3	19.5	7,765	▲ 7.2	20.1	0.92
ASEAN・南アジア	5,551	▲ 10.6	14.9	6,369	▲ 10.9	14.9	5,752	▲ 11.5	14.9	0.92
EU	4,735	6.6	12.7	5,410	11.6	12.7	4,958	10.5	12.9	0.63
韓国・台湾	3,418	0.1	9.2	4,072	▲ 5.8	9.5	3,509	▲ 9.5	9.1	0.75
その他	6,629	▲ 10.8	17.8	7,461	▲ 11.6	17.5	6,500	▲ 12.4	16.9	0.72

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2016/1		2016/2		2016/3		2016/4	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,535	▲ 21.2	1,791	▲ 3.0	2,019	▲ 11.8	1,798	▲ 11.0
台湾	1,765	5.0	1,627	3.7	2,052	1.0	1,711	▲ 7.9
<b>ASEAN・南アジア</b>								
タイ	1,318	▲ 20.7	1,466	▲ 12.6	1,544	▲ 11.3	1,535	▲ 1.8
シンガポール	792	▲ 24.1	900	▲ 6.1	1,137	▲ 8.5	925	▲ 9.6
インドネシア	498	▲ 23.4	590	▲ 22.5	675	▲ 25.3	562	▲ 27.5
マレーシア	565	▲ 12.2	673	▲ 7.6	742	▲ 9.9	681	▲ 10.8
フィリピン	569	▲ 0.0	597	0.9	636	▲ 11.9	633	1.1
ベトナム	477	▲ 33.7	498	▲ 30.9	664	▲ 13.1	624	▲ 26.3
インド	374	11.2	429	15.5	499	1.8	382	▲ 13.7
パキスタン	88	2.0	119	7.5	154	2.7	145	9.1
<b>その他地域</b>								
中南米	2,253	14.0	2,097	▲ 13.8	2,583	▲ 5.8	2,202	▲ 10.6
中近東	1,791	4.4	1,873	▲ 11.7	2,114	▲ 15.1	1,675	▲ 21.7
大洋州	1,132	▲ 6.0	1,198	2.7	1,100	▲ 7.8	1,205	6.4
ロシア東欧等	729	▲ 25.5	816	▲ 20.3	928	▲ 7.4	792	▲ 24.8
アフリカ	474	▲ 50.1	579	▲ 15.4	675	▲ 29.3	554	▲ 15.5

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中プラスは3業種。電子デバイス、重電気機械等9業種が二桁マイナス～

- 1)業種別では、全21業種中プラスとなったのは3業種で、前月と同じであった。業種では、全体の約35%を占める自動車(6.3%減)、18%の産業機械(2.7%減)等の主要輸出業種が減少したことに加え、電子デバイス(10.8%減)、重電気機械(16.0%減)、民生用電子機械(10.1%減)、光学機械(18.2%減)等9業種が二桁のマイナスとなって、機械全体で7.0%減となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、鉄道車両、軽機械の3業種で前月より2業種減少し、他方、産業車両が30%台、電子計算機、民生用電子機械が40%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2016/2			2016/3			2016/4			対08/4比		
	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額		伸び率	シェア
自動車	13,490	▲ 1.1	36.1	自動車	14,792	▲ 0.6	34.7	自動車	13,603	▲ 6.3	35.3	0.77
産業機械	6,471	▲ 3.8	17.3	産業機械	7,511	▲ 8.3	17.6	産業機械	6,857	▲ 2.7	17.8	0.85
電子デバイス	2,654	▲ 9.7	7.1	電子デバイス	3,057	▲ 6.7	7.2	電子デバイス	2,916	▲ 10.8	7.6	0.66
軽電気機械	1,767	▲ 7.1	4.7	船舶	2,559	25.3	6.0	軽電気機械	2,022	▲ 6.9	5.2	0.78
重電気機械	1,765	▲ 3.7	4.7	軽電気機械	1,993	▲ 9.0	4.7	重電気機械	1,843	▲ 16.0	4.8	0.78
船舶	1,644	27.6	4.4	重電気機械	1,917	▲ 14.8	4.5	軽機械	1,655	▲ 2.2	4.3	1.20
軽機械	1,512	4.2	4.0	軽機械	1,690	▲ 1.3	4.0	民生用電子機械	1,447	▲ 10.1	3.8	0.45
民生用電子機械	1,240	▲ 8.9	3.3	民生用電子機械	1,462	▲ 5.1	3.4	船舶	1,444	21.7	3.7	0.81
建設機械	1,001	1.1	2.7	光学機械	1,141	▲ 25.5	2.7	光学機械	1,118	▲ 18.2	2.9	0.82
光学機械	984	▲ 24.0	2.6	建設機械	1,136	▲ 12.5	2.7	建設機械	1,017	▲ 0.3	2.6	0.64
航空機部品	774	4.2	2.1	航空機部品	872	2.5	2.0	航空機部品	798	▲ 11.0	2.1	2.13
工作機械	661	▲ 23.9	1.8	工作機械	859	▲ 28.9	2.0	工作機械	593	▲ 40.1	1.5	0.65
通信機械	531	4.6	1.4	通信機械	593	▲ 7.9	1.4	通信機械	569	▲ 7.4	1.5	0.67
医療機械	454	3.3	1.2	医療機械	523	▲ 9.1	1.2	電子計算機	419	▲ 6.2	1.1	0.43
電子計算機	420	▲ 11.7	1.1	電子計算機	443	▲ 19.5	1.0	医療機械	398	▲ 3.4	1.0	0.95
ベアリング	362	▲ 10.0	1.0	陸用内燃機関	414	▲ 2.5	1.0	ベアリング	369	▲ 15.1	1.0	0.95
陸用内燃機関	356	▲ 0.0	1.0	ベアリング	391	▲ 14.1	0.9	陸用内燃機関	336	▲ 13.8	0.9	0.78
繊維機械	213	19.3	0.6	繊維機械	219	15.3	0.5	農業機械	205	7.7	0.5	1.00
農業機械	213	20.1	0.6	農業機械	216	▲ 12.8	0.5	繊維機械	158	▲ 0.9	0.4	0.88
鉄道車両	129	273.4	0.3	産業車両	121	▲ 7.3	0.3	鉄道車両	124	154.4	0.3	1.55
産業車両	115	▲ 3.2	0.3	鉄道車両	105	▲ 17.8	0.2	産業車両	103	▲ 24.1	0.3	0.39
21業種合計	36,757		98.5	21業種合計	42,012		98.5	21業種合計	37,994		98.6	0.77

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン  
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器  
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品  
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5) 機種別動向～鉄道車両、半導体製造装置、船舶が大幅増、発電機、工作機械等が大幅減～

- 1) 10%以上の伸び率を示した機種は 3 機種(前月と同じ)で、①EU 向け**鉄道車両**(2.5 倍)、②韓国・台湾、中国向け**半導体製造装置**(26.1%増)、③その他地域向け**船舶**(21.7%増)であった。  
 2) 一方、発電機(52.8%減)、工作機械(40.1%減)、原動力機械(27.6%減)等 5 機種が 20%以上の大幅な減少であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位: 億円、%)

2016/2			2016/3			2016/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	129	273.4	船舶	2,559	25.3	鉄道車両	124	154.4
船舶	1,644	27.6	デジカメ・ビデオ	399	17.6	半導体製造装置	1,522	26.1
農業機械	213	20.1	繊維機械	219	15.3	船舶	1,444	21.7
繊維機械	213	19.3	機種合計	3,177	* 7.4%	機種合計	3,090	* 8.0%
産業用ロボット	137	14.9						
受信変換その他送受信機器	149	13.8						
理化学用機器	443	12.2						
機種合計	2,928	* 7.8%						

は、2ヶ月連続で上位機種 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合  
 通信機械部分品: ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信: ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器  
 理化学用機器: 物理・化学分析用機器の部分品、電気式分析機器等 電動機: 業務用モーター  
 その他の光学機器: レーザー、半導体検査装置等 その他の重電気機器・部分品: 重電機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位: 億円、%)

2016/2			2016/3			2016/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
その他の光学機器	791	▲ 28.4	発電機	91	▲ 38.9	発電機	65	▲ 52.8
工作機械	661	▲ 23.9	工作機械	859	▲ 28.9	工作機械	593	▲ 40.1
金属加工機械	235	▲ 22.5	その他の光学機器	922	▲ 28.1	原動力機械	379	▲ 27.6
電池	166	▲ 21.5	原動力機械	473	▲ 26.4	産業車両	103	▲ 24.1
電気・電子計測器	332	▲ 19.5	金属加工機械	324	▲ 22.1	通信機械部分品	234	▲ 20.6
デジカメ・ビデオ	285	▲ 17.2	印刷・製本機械	824	▲ 22.0	その他の光学機器	923	▲ 19.5
原動力機械	414	▲ 13.2	電池	182	▲ 21.2	その他の重電気機器・部分品	429	▲ 16.8
電子計算機	420	▲ 11.7	電子計算機	443	▲ 19.5	デジカメ・ビデオ	335	▲ 16.6
その他の配電制御装置	721	▲ 11.2	鉄道車両	105	▲ 17.8	貨物自動車	836	▲ 16.5
ベアリング	362	▲ 10.0	電動機	146	▲ 17.5	電池	196	▲ 15.2
機種合計	4,387	* 11.8%	機種合計	4,369	* 10.2%	機種合計	4,093	* 10.6%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～電子デバイス、電子計算機、航空機・部品等が大きく減少～

- 1) 4 月の機械輸入伸び率は 14.4%減と 6 ヶ月連続のマイナスとなった。電子デバイス(20.5%減)、電子計算機(9.5%減)、航空機・部品等(13.3%減)をはじめ、上位 12 機種のうち 10 機種が減少したことにより、マイナスとなった(3 月は 9 機種が減少)。  
 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、航空機・部品等、白物家電、携帯電話、医療機械、受信変換・その他送受信、時計、TV となっている。  
 3) 地域別機械輸入額は、全体の 39%を占める中国(17.8%減)、ASEAN・南アジア(14.2%減)、EU(5.8%増)、北米(17.0%減)、韓国・台湾(23.1%減)、その他地域(1.5%減)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種 (単位: 億円、%)

2016/2				2016/3				2016/4			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,009	▲ 16.8	11.3	電子デバイス	2,182	▲ 17.8	11.5	電子デバイス	1,931	▲ 20.5	11.7
電子計算機	1,744	▲ 9.3	9.8	電子計算機	2,008	▲ 2.0	10.5	電子計算機	1,652	▲ 9.5	10.0
自動車部品	1,055	▲ 7.6	5.9	自動車部品	1,129	▲ 4.5	5.9	航空機・部品等	1,004	▲ 13.3	6.1
航空機・部品等	966	34.5	5.4	航空機・部品等	1,037	▲ 1.2	5.4	乗用車	967	30.8	5.9
携帯電話	852	▲ 27.7	4.8	携帯電話	1,029	▲ 27.9	5.4	自動車部品	930	▲ 9.2	5.6
乗用車	716	4.6	4.0	乗用車	822	▲ 22.4	4.3	白物家電	701	▲ 9.5	4.2
医療機械	707	1.6	4.0	医療機械	742	1.3	3.9	携帯電話	664	▲ 45.8	4.0
白物家電	581	▲ 15.5	3.3	白物家電	698	17.4	3.7	医療機械	576	▲ 10.3	3.5
受信変換その他送受信	541	▲ 3.3	3.0	受信変換その他送受信	540	▲ 15.5	2.8	配電機器	454	▲ 13.7	2.7
配電機器	507	▲ 6.7	2.8	配電機器	514	▲ 5.5	2.7	受信変換その他送受信	395	▲ 24.7	2.4
その他の配電制御装置	339	▲ 9.7	1.9	その他の配電制御装置	391	▲ 2.4	2.1	時計	357	9.3	2.2
風水力機械	323	▲ 4.3	1.8	コンデンサー等部分品	350	0.3	1.8	その他の配電制御装置	325	▲ 19.5	2.0
12機種合計	10,340		58.1	12機種合計	11,442		60.1	12機種合計	9,956		60.3

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械  
 ・受信変換その他送受信: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等